

令和五年度全国俳句大会

選者吟 (五十音順)

ゆつくりとかなしむために吾亦紅

櫛 未知子

豹紋蝶露けくよぎる故郷塚

坂口 緑志

客見えずなりて締むる戸蕉翁忌

高柳 克弘

今日四囲の山晴々と芭蕉祭

宮田 正和

特選句  
(順不同)

權 未知子 選

小鳥来る伊賀の土鍋の目玉焼

福田 容子

蜻蛉のふれ合ふ音や水暗し

森永 康子

玩具みな抛る赤ん坊鴉高音

服部登紀子

坂口 緑志 選

日当たれば土芳が墓に秋の蝶

野崎 海芋

萩の咲く蓑虫庵を去り難し

岩田 半寒

椿の実弾ける音や蓑虫庵

池本 準一

高柳 克弘 選

秋蝶来高石垣のうへの空

坂石 佳音

昨日より今日のさやけし俳聖殿

浜地 和恵

ひのな漬賜ひ月見の宴果つ

田端 昭子

宮田 正和 選

けふ帰燕俳聖殿を高く高く

福田 容子

杖の踏む砂利のしづかに翁の忌

森永 青葉

しんがりの二羽やや遅れ雁渡る

服部登紀子